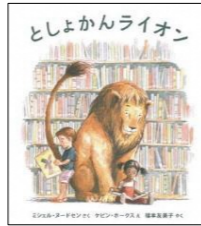




「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」★
おじいちゃんのおじいちゃん★
長谷川義史/作
BL出版(Eハセガ)

おじいちゃんのおじいちゃんはどうな人？
時代をさかのぼり、ぼくはおじいちゃんに
会いに行く。歴代のおじいちゃんたちは、そ
の時代の生活をぼくに見せながら、家族のつながりを教えてく
れた。言葉と風景、探し絵も楽しめる、何度も発見のある1冊。



「としよかんライオン」★
ミシェル・ヌートセン/さく ケビン・ホクス/え
福本友美子/訳 岩崎書店(Eホクス)

ある日、一頭のライオンが図書館に現れます。
皆びっくりしますが、館長のメリウエザーさんだけ
は別。「図書館のきまりを守れば、ライオンだって
来てよいのです」だって！ 子どもたちとおはな
しを聞いたり、お手伝いをしたり、皆の人気者になったライオン。
しかし、大声をだしてはいけないきまりをやぶってしまい…。



「へっこきあねさがよめにきて」●(日本)
大川悦生/文 太田大八/絵
ポプラ社(Eオオタ)

ある男のところにとついできた嫁は、とても働き
者の良い娘。男も母親も大喜びですが、だんだん
嫁の様子がおかしくなってきました。母親がわけを
聞くと、嫁は尻(おなら)を我慢しているというので
す。遠慮せずすればいいと言われ、思い切って尻をすと…
ぼん、ぼん、ぼが～ん！！ ユーモアあふれる日本の昔話です。



「わたし、ぼんとうんがいい」●
せなけいこ/文・絵
鈴木出版(Eセナケ) (イギリス)

にこにこばあちゃんが歩いて
いると、道に古いつぼがおちて
いました。つぼの中をのぞくと、びっくり！ きんかが
ぎっしり入っています。ばあちゃんはおよろこびで
つぼをもちかえろうとしますが、つぎつぎとふしぎな
ことがおこって…。イギリスのゆかいなむかし話。



「ふたごのもうふ」★
ヘウォン・ユン/さく せなあいこ/やく
トランスビュー(Eユンハ)

うりふたつの双子のわたしたちは
仲良くなんでもわけっこしてきたの。
でも、5歳になって一枚の毛布に
ふたりで寝るのは、小さすぎてけんかになっちゃった。
はじめて自分だけの毛布をもつワクワクと、ひとりで寝る
ドキドキを、ほほえましく描いたおはなし。



「ロバのシルベスターとまほうの小石」★
ウィリアム・スタイグ/作 せたていじ/やく
評論社(Eスタイ)

ある日、ロバのシルベスターは赤く光るきまよ
うな小石を拾いました。なんとそれは触って願い
事を言うと叶えてくれる小石だったのです。
ところが、突然現れたライオンに驚いたシルベス
ターは、うっかり自分を岩に変えてしまいました。自分ではもとの
姿に戻れなくなってしまったシルベスターの運命は？



「十二支のはじまり」●(日本)
岩崎京子/文 二俣英五郎/画
教育画劇(Eフタマ)

むかし、ある年の暮、神様は動物たち
におふれをだしました。「正月の朝、御殿に
来たものから十二番まで、順番に一年ずつ、その年の大将にする」
動物たちは自分こそいちばんのりだと大騒ぎです。
その後、いつ御殿に行くのかを忘れてしまったねこが、ねずみに
日にちを聞きに来ましたが、ねずみはうそを教えます。



「こんや、妖怪がやってくる」
中国のむかしばなし●(中国)
君島久子/文 小野かおる/絵
岩波書店(Eオカ)

おそろしい妖怪がいる村に住むおばあ
さんは、妖怪から「明日はお前を食いに
くる」と言われます。おばあさんが泣いていると、たまごや
ぞうきんたちが「助けてあげる」と約束してくれて…。
中国で古くから伝わる楽しい妖怪退治のお話です。



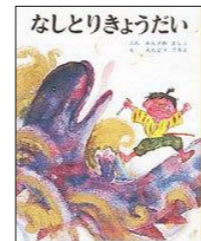
「しゃっくりがいつ」★
マーゼリー・カイラー/作 S.D.シンドラー/絵
黒宮純子/訳 らんか社(Eシンド)

しゃっくりがとまらないがいつ。
頑張るとめようとしますがうまくいき
ません。なぜなら、がいつの体はス
カスカの骨！ 息を止めてももれてしまうし、水を飲んでもこぼ
れてしまいます。その時、友達のおバケがいいことを思いつき
ました。しゃっくりを止める驚きの方法とは？



「さんまいのおふだ」●(日本)
水沢謙一/再話 梶山俊夫/画
福音館書店(Eカジヤ)

山へ花を探しに行き、道に迷ってしまった
こぞうさん。すっかり夜もふけて困っていると、
山のむこうに小さな家の灯りを見つけました。
その家に住んでいるおばばに一晚泊めても
らうことにしましたが、夜中に目を覚ますと「こぞうはうまそう
だな」という声が…。



「なしとりきょうだい」●(日本)
かんざわとしこ/文 えんどうてるよ/絵
ポプラ社(Eエント)

病気のお母さんのため、山へなしをとりに行く
ことにした三兄弟。最初は長男のたろうが、次に
二男のじろうがでかけましたが、二人は沼の主
に吞まれ、帰ってきませんでした。そこで末っ子
のさぶろうが行くことになりました。「いけっちゃんかさかさ、いくなっちゃん
かさかさ」という不思議な歌に導かれて歩いていくと…。



「パンのかけらとちいさなあくま」●
内田莉沙子/再話 堀内誠一/画
福音館書店(Eホリウ) (リトアニア)

ちいさなあくまは貧乏なきこりのパン
を盗み、おおきなあくまたちにひどく叱
られてしまいます。おわびにきこりの
願いをきいて沼を麦畑にかえませんが、
意地悪な地主に横取りされてしまいました。ちいさな
あくまは麦畑を取り戻すことができるのでしょうか？



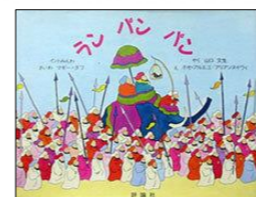
「あかちゃんのゆりかご」★
レベッカ・ボンド/作
さくまゆみこ/訳 偕成社(Eボンド)

生まれてくる赤ちゃんのために、お父
さんがゆりかごを作りました。おじいちゃん
は色をつけ、おばあちゃんはキルトを
縫いました。家族みんなが心をこめて
ひとつのゆりかごを完成させます。赤ちゃんの誕生を心待ちに
している家族の様子や表情が可愛らしく描かれた絵本。



「かさじぞう」●(日本)
瀬田貞二/再話 赤羽末吉/絵
福音館書店(Eアカバ)

昔、貧乏なおじいさんとおばあさんがいました。
おじいさんは正月の餅を買うために、町へ笠を
売りに行きましたが全く売れません。がっかりし
て帰る途中、雪の中に立つ地藏さまに持ってい
た笠を全てかぶせてあげました。すると明け方、地藏さまたちの
かけ声がして…。心優しいおじいさんに起こった、大晦日のお話。



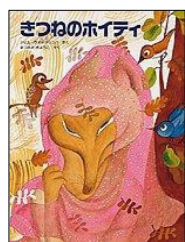
「ランパンパン」●(インド)
マギー・ダフ/さいわ ホセ・アルエゴ/え
山口文生/訳 評論社(Eアルエ)

“ランパンパン”と太鼓をたたいて行進する
クロドリ。王さまに連れて行かれてしまった
奥さんを奪いかえすため、戦いの準備をして
宮殿へ向かっています。途中、ネコや木の枝、川、アリが仲間になり、
クロドリの耳の中におさまって一緒に宮殿に乗りこみます。強い力を
持つ王さまに知恵で勝負する勇ましいおはなしです。



「金のガチョウ」●(グリム)
グリム/原作
パーナデット・ワッツ/文・絵
福本友美子/訳 BL出版(Eウオツ)

家族みんなからばかにされている
すえむすこは、森でふしぎなこびと
に出会います。「おまえはやさしくしてしんせつだから、お
れいにしあわせにしてやろう…」こびとの言う通り木を
切り倒すと、そこには金のガチョウが座っていました。



「きつねのホイティ」★
シビル・ウェッタシン/さく
まつおかきょうこ/訳 福音館書店(Eウエタ)

くいしんぼうのキツネ・ホイティは人間に
なりすまし夕食を食べ歩きます。ところが、
おかみさんたちに調子にのった悪口の歌
を聞かれてしまってさあ大変！
おかみさんたちが考えたホイティへの仕返しとは？
愉快なスリランカの絵本。



「なんにもせんにん」●(日本)
唯野元弘/文 石川えりこ/絵
鈴木出版(Eインカ)

あるところに、働かずに毎日遊んでばかりの
若者がいました。ある日、つぼの中にいる小さな
男を見つけます。「わしは、なんにもせんんで遊んでいるもんが好き
なんじゃ」と言うので、若者は小さな男を家につれてかえりました。
しかし、若者が遊べば遊ぶほど男の体は大きくなっていき…。
ユニークでちょっぴりふしぎな昔話。



「天の火をぬすんだウサギ」●(北米)
ジョアンナ・トゥロートン/さく
山口文生/訳 評論社(Eトウロ)

昔、火は天にだけあり、地上の動物たちは寒さ
に震えていました。そこでかしいウサギは、天か
ら火を盗んできます。火はウサギからいろいろな
動物にリレーされて地上に運ばれました。
リスのしっぽやアライグマの体の模様が、どうして今の形になったの
かなどが描かれた、北米インディアンに伝わるおはなし。



「いろいろはっぱ」◆
小寺 卓夫/写真・文
佐藤 孝夫/監修
アリス館(Eコテラ)

葉っぱをながめてみると、いろん
な色やかたちがあります。太いものや
長いもの。ぎざぎざだったり丸かったり、かじられて穴
だらけだったりするもの。赤や黄色に変化するもの。
個性豊かな葉っぱたちが登場する写真絵本です。



「からだのなかでドゥンドゥン」◆
木坂涼/ぶん あべ弘士/え
福音館書店 (E7ベヒ)

人間も、犬も、猫も、とかげも、鳥も、クジラだって、生きているものはみんな、命の音を持っています。心臓に耳をあてれば聞こえてくるよ、ドゥン、ドゥン、ドゥン。自然のふしぎをわかりやすくかいた「ちいさなかがくのとも」シリーズの絵本です。



「かっこいいなしょうぼうし」◆
ひさかたチャイルド (B31カッコ)

火事の現場にいち早く駆けつける消防士。私たちの安全を守るため、消防自動車の点検や、高い所のロープを渡る訓練など、色んなお仕事をこなしています。

かっこいい消防士たちがどんな一日をすごしているのか、詳しく見てみよう。



「おすしのさかな」◆
ひさかたチャイルド (B59オスシ)

みんなの大好きなお寿司。その材料である魚は、お皿に乗る前はどんな姿をしていたのかな？ 広い海でスイスイ泳ぐ

様子から、釣り上げられ、職人さんのお手でお寿司になるまでを、写真でわかりやすく紹介。おいしいお寿司について楽しく学べる1冊です。へいおまち！



「おかしなゆきふしぎなおこり」◆
片平孝/写真・文
ポプラ社 (B45かた)

雪や氷は降り方や場所、気温によって色々な形に変身します。

はげしく降る雪は、高く積もったコックさんの帽子。波しぶきが作る、氷のシャンデリア。奇妙な形に育った樹氷、アイスモンスター！自然の神秘を美しく切り取った写真絵本です。



「おそらにはてはあなの？」◆
佐治晴夫/文 井沢洋二/絵
玉川大学出版部 (Eイサワ)

お空はどこまでも続いているの？ それともどこかに終わりはあるのかな？ もしかしたら、夜空いっぱいのお星さまにヒントがあるかもしれません。

素朴な宇宙の疑問に、物理学者がやさしい言葉で答えた色鮮やかな知識絵本。

《その他おすすめの本》

- 「じごくのそうべえ」★
田島征彦/作
童心社 (Eタジマ)
- 「そらからぼふ〜ん」★
高島那生/作
くもん出版 (Eタハ)
- 「ずーっとずーっとだいすきだよ」★
ハンス・ウィルヘルム/えとぶん
評論社 (Eビルハ)
- 「いろいろななかぞくのほん」★
マリ・ホフマン/ぶん ロス・アスキス/え
少年写真新聞社 (Eアスク)
- 「したきりすずめ」(日本)●
長谷川摂子/文 ましませつこ/絵
岩波書店 (Eマシマ)
- 「ねずみのすもう」(日本)●
大川悦生/文 梅田俊作/絵
ポプラ社 (Eウメ)
- 「ふしぎなボジャビのき」(アフリカ)●
ダイアン・ホフマイヤー/再話 ビート・フロラー/絵
光村教育出版 (Eフロ)
- 「おだんごぱん」(ロシア)●
瀬田貞二/訳 脇田和/画
福音館書店 (Eワキタ)
- 「はなのあなのはなし」◆
やぎゆうげんいちろう/作
福音館書店 (Eヤギユ)
- 「なく虫ずかん」◆
大野正男/文 松岡達英/絵
福音館書店 (B48オノ)
- 「まほうのコップ」◆
藤田千枝/原案 河島敏生/写真
福音館書店 (Eカワシ)

2022年9月
編集：福島市子どもライブラリー (Tel.526-4200)
発行：福島市立図書館 (Tel.531-6551)

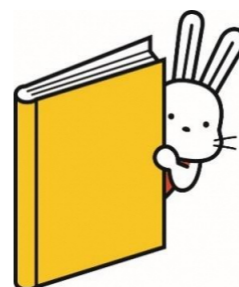
【福島市立図書館】
○開館時間 月～土：午前9時30分～午後7時
日・祝日：午前9時30分～午後5時30分
○休館日 火曜日
館内整理日

【子どもライブラリー】
○開館時間 毎日：午前9時30分～午後7時
○休館日 火曜日

学習センターについては、各館にお問合せください。

えほん

～4・5歳児のためのブックリスト～



はじめに

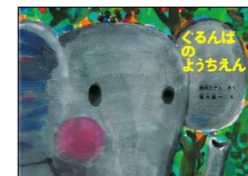
4・5歳の頃は「読み聞かせの黄金期」だと言われています。様々なことを吸収しやすいこの時期、良い絵本との出会いは子どもの好奇心を満たすだけでなく、将来まで続く心の栄養となってくれます。

このリストでは、長く読み継がれているものから新しいものまで、図書館員が選んだ41冊を紹介しています。読み聞かせはもちろん、親子で本を選ぶときの参考にぜひご活用ください。

絵本についているマークについて

- ★・・・ものがたり
- ・・・むかしばなし
- ◆・・・知識の本

福島市立図書館



「ぐるんぱのようちえん」★
西内ミナミ/文
堀内誠一/絵
福音館書店 (Eホリウ)

ぐるんぱは、ひとりぼっちのきかないぞう。仲間に言われ働きに出ましたが、ビスケット屋、お皿作り、靴屋など、どの仕事をしてしても失敗ばかり。ところが子どもたちと遊んでみると…。ぐるんぱが自分にぴったりの居場所を見つけるまでのおはなし。



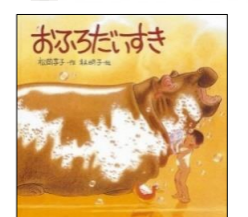
「くいしんぼうのはなこさん」★
いしいももこ/ぶん
なかにちよこ/え
福音館書店 (Eナカ)

こうしのはなこは、わがままで食いしん坊。山の牧場でも誰よりも大きく強いので、いつも威張っています。ある日、お芋やかぼちゃを食べ過ぎたはなこは、体がばんばんにふくらんでしまい大騒ぎになりました。



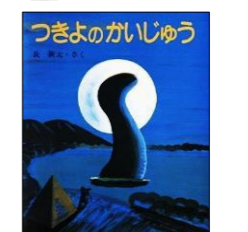
「むしむしでんしゃ」★
内田麟太郎/文
西村繁男/絵
童心社 (Eニシム)

むしむしでんしゃが発車します。ののたんののたん。ののたんののたん。乗っているのは、チョウにバッタ、よわむし、なきむし？！さあ、むしむしでんしゃはどこにむかうのかな。虫好きにも電車好きにもおすすめです。



「おふろだいすき」★
松岡享子/作
林明子/絵
福音館書店 (Eハヤシ)

おふろが大好きなぼくは、今日もあひるのブックと一緒に入ります。体を洗っていると、おふろからかめが浮いてきました。続いてペンギンやオットセイ、カバたちもやってきて、たちまち遊び場が大変身！おふろが苦手な子も楽しめる絵本です。



「つきよのかいじゅう」★
長新太/さく
佼成出版社 (Eチヨウ)

その湖には昔から怪獣がいると言われていた。男は10年ものあいだ怪獣を待っていた。いったいどんな姿をしているのか、男の想像は膨らんでいく。驚きのその正体とは？親子で楽しめるナンセンス絵本です。